

請 願 文 書 表

- 1 請願第3-3号 「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を基地建設の埋め立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める請願 (総務委員会付託)
- 1 受 理 年 月 日 令和3年8月25日
- 1 紹 介 議 員 長 友 正 徳 石原よしのり 秋本 のり子
- 1 請願の趣旨及び請願者の住所、氏名

(請願書原文写)

「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を基地建設の埋め立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める請願

沖縄戦では一般住民を巻き込んだ地上戦が行われ、多くの尊い命が失われた。

糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」には、国籍、軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで亡くなられた24万1,593名の氏名が刻銘されている。

糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域には、1972年の本土復帰に伴い、戦争の悲惨さや命の尊さを認識し、戦没者の霊を慰めるために、戦跡としては我が国唯一となる、自然公園法に基づいた「沖縄戦跡国定公園」として指定された。

同地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた民間人や命を落とされた兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも、戦没者の遺骨収集がおこなわれている。沖縄戦で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を基地建設の埋め立てに使用することは、人道上許されるものではない。

よって、市川市議会として、国会および政府に対し、下記の事項を速やかに実現するよう意見書を提出するよう請願する。

記

1. 太平洋戦争末期の沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を基地建設の埋め立てに使用しないこと
2. 日本で唯一、住民を巻き込んだ地上戦があった沖縄の事情に鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること

令和3年8月25日

市川市議会議長

金子 正 様